

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		新入学児童ランドセル配付事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000186
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201		学校教育の充実				課長名	学校教育課
	政策名	02		生きがいを育む学びのまちづくり				グループ	総務グループ
	施策名	01		学校教育の充実				担当者名	
	手段名	02		②教育体制の充実					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	02	02	00	事務局事業		
法令根拠	ランドセルの配布について毎年起案し、それをもって根拠としている。								
	[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)								

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>ランドセル配布事業は、新入学児童の健やかな成長を願い、合併以前から3町村で実施している (旧岩瀬町・旧真壁町 平成5年から、旧大和村 昭和52年から実施)。</p> <p>入学時期は保護者にかかる経費も多く、ランドセルを配布することにより、保護者にかかる負担の軽減となっている。また、同じものを使用する事により、差別やいじめに対する対策が図られる。</p> <p>ランドセルは、学校教育課で一括購入し、2月に予定されている入学説明会時に配布している。</p>		<p>新入学時の人数を把握し、業者との契約及び各学校へのランドセル配布日を決める。</p> <p>市広報誌掲載及びHPによる周知</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
新入学児童の人数を把握し、業者と契約及び各学校へランドセル配布日を決める。	ランドセル個数	個	255.00	278.00	260.00	230.00	230.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
新入学児童数	新入学児童数	人	255.00	274.00	260.00	230.00	230.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
統一したランドセルで通学できる。保護者にかかる負担の軽減となっている。	負担が軽減された保護者数	件	255.00	274.00	260.00	230.00	230.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

(3) 投入量 (事業費) の推移			01年度	02年度	03年度	期間限定	
			(実績)	(実績)	(計画)	総投入量	
投 入 量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	5,577	6,178	6,807	0
		事業費計 (A)	千円	5,577	6,178	6,807	0
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	6,178		07 報償費	6,807	
		合 計	6,178		合 計	6,807

事務事業名	新入学児童ランドセル配付事業	事務事業No.	20102000186	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 入学時期は保護者の負担も多く合併以前から3町村で実施しており（旧岩瀬町・旧真壁町平成5年から、旧大和村昭和52年から実施）ランドセル購入価格は原材料の高騰により増加の傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 大変喜ぶ保護者と、好みに合ったランドセルを購入したいという保護者の意見も過去にあった。 今年度は、特に意見要望等はなし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子育て事業の一環として、新入学児童を持つ家庭にとっての経済的負担を軽減することにより結びついている。
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内の全ての小学校に入学する児童に公平に同じものを配布することで、いじめ等の防止にもつながる。
有効性	③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない ランドセルに代わるものの要望も聞かれるが、現状維持の状況である。
	④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市からの贈呈品として、新入学時に公平に同じものを配布する品として定着していることから、廃止するのは難しい。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 年々ランドセル1個あたりの単価が、原価の上昇等の影響を受けて上昇しており、削減は難しい。新入学児童数は減少していくにつれ、事業費自体は削減されていると思われる。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 新入学児童全員に贈呈（特別支援学校入学児童含む）を対象に配布。 市外へ区域外就学の児童、私立小学校へ就学する児童に対しては記念品「図書カード」を贈呈

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																											
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	新入学児童にランドセルを贈呈することについては、市広報誌及び市ホームページへの掲載により周知を図っている。近年はランドセル購入を4月から5月の早い時期に考える保護者が多く問い合わせもあるため、例年より掲載時期を早め8月に周知をしたが、5月や6月に周知を図るのが望ましい。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 男子児童には黒色、女子児童には赤色のランドセルを配布しているが、公的機関が性別の違いで色を分けて配布することの是非が問われるところである。そうするとランドセルの色を選択制もしくは統一をすると良いのではないかと考えられる。 ランドセルの色を選択制にしている市町村はあるので、調査することが望ましい。 色の選択・統一となった場合に保護者への周知方法はどのようにするのか等の課題があると思われる。		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下							
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○	×																									
	維持																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		◎																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認